

2026年4月吉日

LS 研会員 各位

Fujitsu ユーザーコミュニティ LS 研究委員会

2026年度 研究分科会／短期研究分科会 追加メンバー募集について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より Fujitsu ユーザーコミュニティ LS 研究委員会活動にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

過日ご案内した研究分科会は、お陰様で 8 テーマ・10 分科会、短期研究分科会は 1 テーマ・1 分科会が成立いたしました。一部の分科会で若干の空きがございますので、追加メンバーの募集をご案内いたします。

詳細につきましては、下記をご確認のうえ、ご検討いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 活動の目的

■ **研究分科会**：「先進的 ICT 適用」や「情報システム部門が抱える課題解決」などについて、問題意識を持ったメンバーが集まり、Give & Take の精神で共同研究を行い、成果を創出し、実ビジネスに活かすヒントを得る活動です。1 年間の研究活動を通じ、今後の情報システム部門を担う人材育成および異業種・異文化間のネットワーキングも目的としています。

■ **短期研究分科会**：タイムリーで実践的、先進的なテーマに対して、市場動向の調査および企業の取り組み状況などを共有し、参加メンバーによる意見交換、討議に重点を置いた半年間の活動です。

2. 活動概要

(1) 研究期間

■ **研究分科会** : **2026年4月～2027年3月** (2027年5月に研究成果発表会を予定)

■ **短期研究分科会** : **2026年5月～2026年10月** (2026年11月に成果報告会を予定)

※発表会または報告会までが活動期間となります。

(2) 活動方法

毎月 1 回の会合による研究活動 (※研究分科会の 6 月、11 月は月 2 回の開催となります)

(3) 募集テーマ

【研究分科会】※ () 内の人数が、今回追加募集人数となります。

- ・サービス利用型 IT プロジェクトにおける情報システム部門の役割と人材の研究 (1名)
- ・FAQ チャットボットの性能向上と実践評価の研究 (6名)
- ・クラウドネイティブ環境へシフトするための各種課題対策の研究 (1名)
- ・生成 AI 活用によるナレッジの即時適用の研究 (1名)

【短期研究分科会】

- ・AI エージェント基礎と活用・介入技法の研究 (5名)

[研究テーマ概要](#)



(4) 参加申込

こちらよりお申し込みください

参加申込



(5) 申込期間 **2026年4月22日(水)～2026年5月15日(金)**

※お申込は**先着順**です。

(6) 参加費

- ・ 無料（ただし、毎月の分科会開催地への交通費、宿泊費は別途必要）
- ・ LS 研会員は不要です。
- ・ LS 研未加入の Fujitsu ユーザーコミュニティ会員の方は、以下の参加費を申し受けます。

研究分科会	: 11,000 円（内消費税 1,000 円） / 1 名
短期研究分科会	: 5,500 円（内消費税 500 円） / 1 名

(7) 留意事項

- ・ 同一分科会には 1 社 1 名とさせていただきます。
- ・ 各研究分科会は、4 月より活動開始しております。そのため、追加メンバーは途中からのご参加になることをご承知おください。
なお、初回参加の前に、担当事務局よりそれまでの活動経緯について、ご説明いたします。

3. 添付資料

LS 研 2026 年度研究分科会 / 短期研究分科会追加メンバー募集要項 1 式

募集要項



研究分科会の特徴

■ 研究テーマの募集～選定

LS 研では毎年、会員の皆様および富士通社員から研究テーマを募集し、活動目的に合致したテーマを LS 研幹事および富士通の事業部 / 研究所の役員を中心としたメンバーで、約 6 カ月かけて選定しています。

■ 研究活動サポート体制

- ① 研究活動に慣れていらっしゃる方も初めての方も、全員参加の「研究の進め方ワークショップ」を活動の前半(6 月頃)にご受講いただき、より質の高い研究活動に取り組んでいただけます。
- ② 活動後半(12 月頃)では、「論文の書き方ワークショップ」を開催いたします。それまでの取り組みを論理的にどのようにして表現（執筆）すればよいか、LS 研ならではのオリジナルセミナーをご受講いただけます。
- ③ 各分科会には、LS 研幹事による経営目線でのアドバイスや、富士通のテクニカルアドバイザーが技術面でのサポートを行うなど、充実したサポート体制があります。

■ 研究成果発表の場

1 年間の研究成果は、翌年 5 月に開催される「総合発表会」にてご発表いただき、会員の皆様と広く研究成果を共有いただけます。

～この機会を是非ご活用いただきますようよろしくお願い申し上げます～

以上